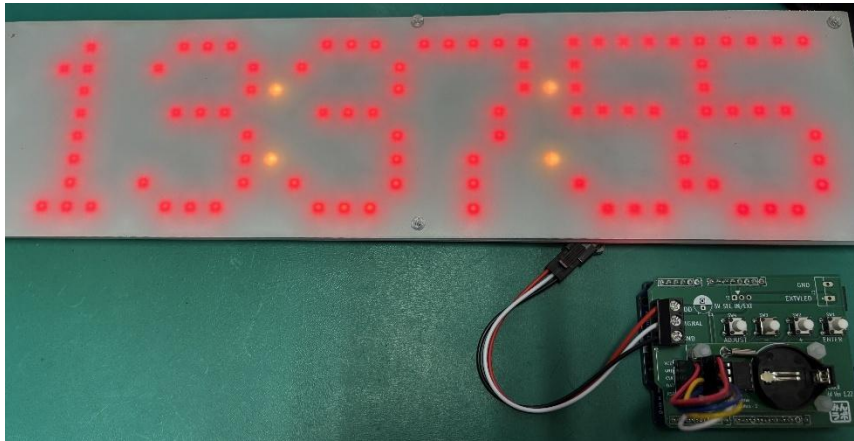


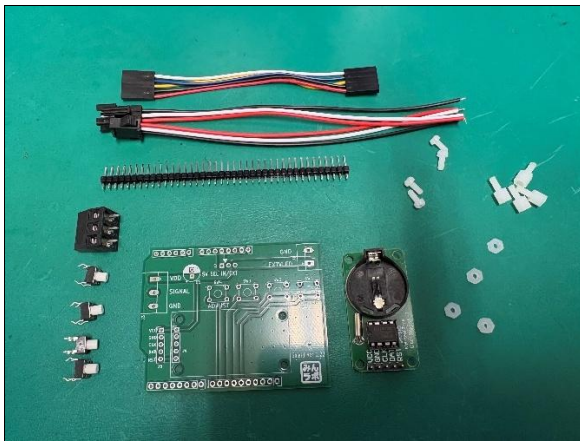
Clock Shiled Ver 1.22 キット取扱い説明書



(LED パネル状にプラ板を置いています)

注意事項：8x32 Led パネル 1 枚単体でご使用ください。

1. キット 部品



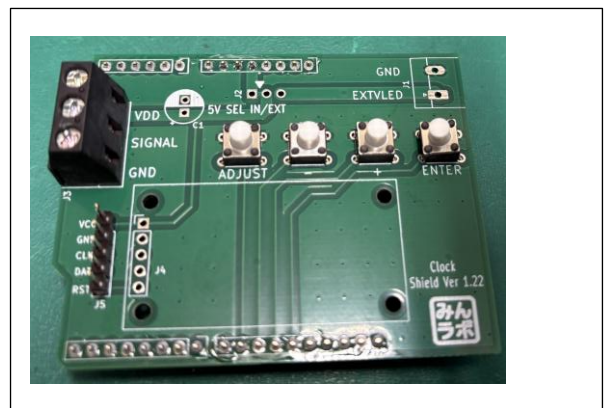
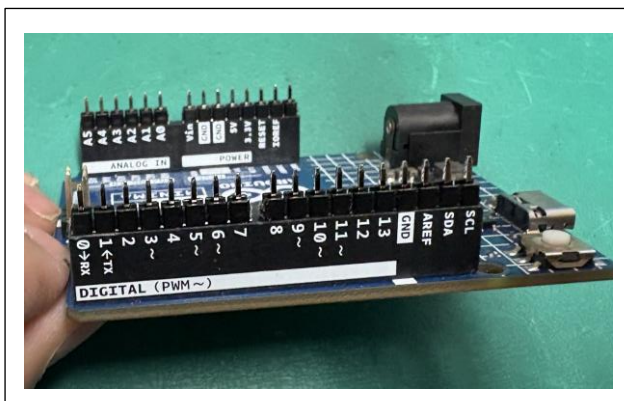
- 1.5pin ケーブル (RTC 間接続)
- 2.3pin ケーブル ｽｽ(LED 間接続用オスのみ使用)
- 3.ターミナルブロック 3pin(黒い奴)
- 4.ボタン4つ (ロットにより色など異なる。)
- 5.40Pin ヘッダーピン
- 6.Clock Modules-2
- 7.基板 1 枚
- 8 ネジ、ナット、連結ジョイント 各4つ

2. 作成方法

2-1. お持ちの Arduino に合わせて、ヘッダーピン切りながら入れます。

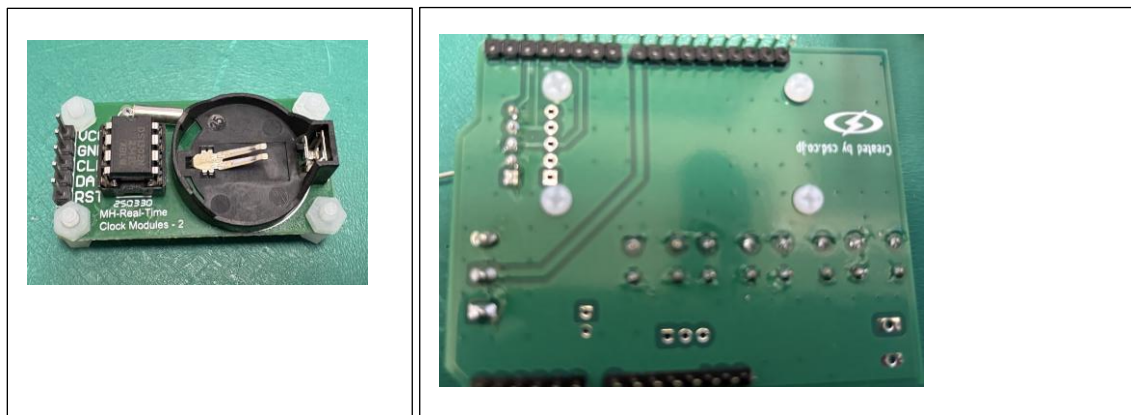
その後、基板をのせハンダ付けをします。

次にボタン、ターミナルブロック、ヘッダーピンを J5 にいれハンダ付けをします。

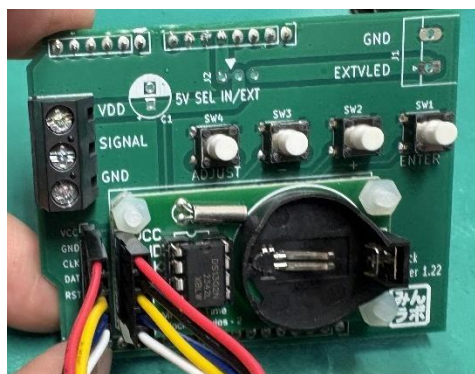


2-1

2-2. Clock Modules-2 に連結ヘッダーと、ナットを付けます。その後基板にネジで付けます。

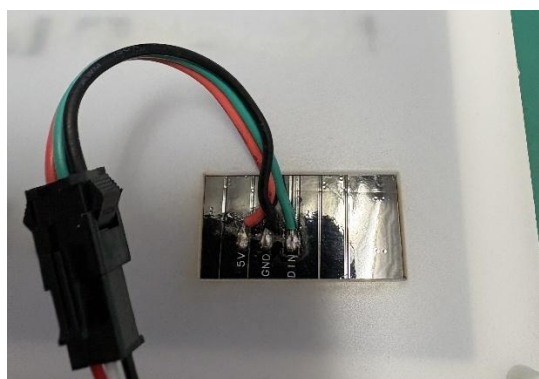


2-3. Clock Modules-2 と基板を 5PIN コネクタで接続します。

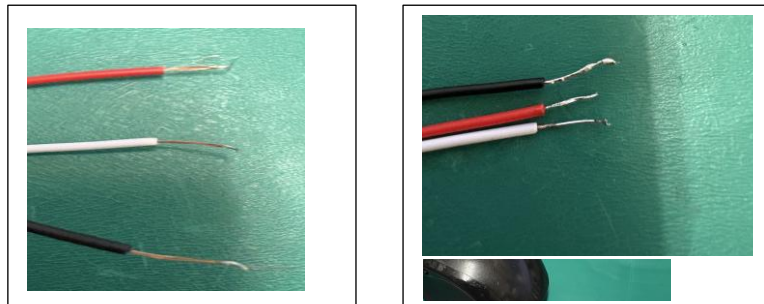


2-4. LED パネルの **DIN 側** とコネクタを接続します。オス側を使用します。

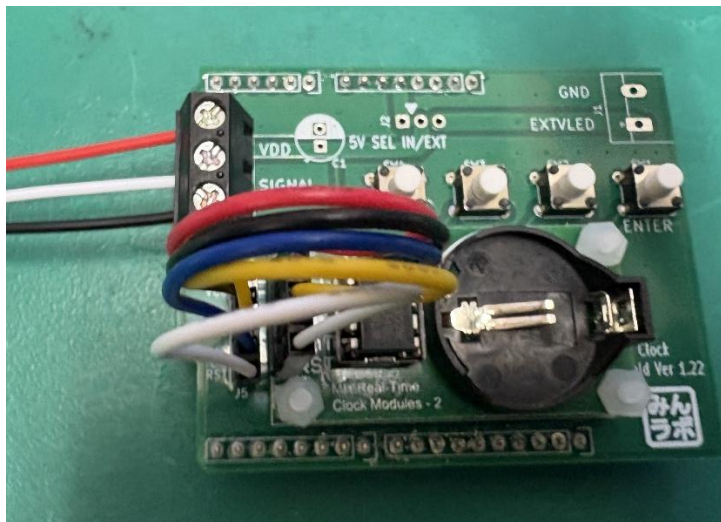
(メス側は余ります。)



2-5. コネクタのビニールを若干剥いて、ハンダメッキします。

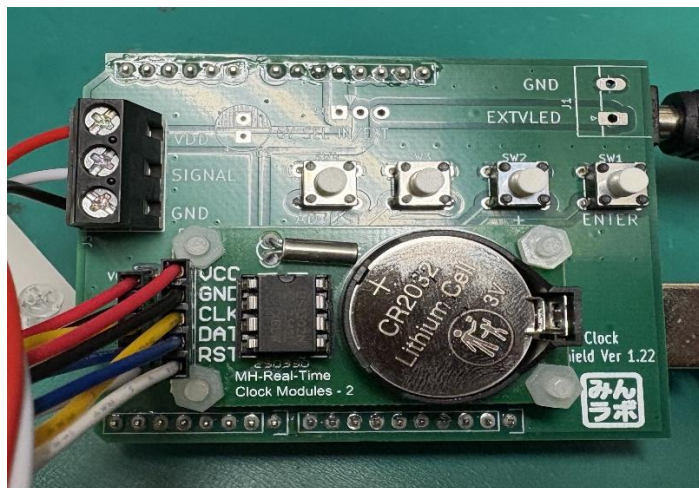


2-6.ターミナルブロックに接続します。
赤 VDD ,白 SINGNAL ,黒 GND です。



2-7.バックアップ電池（オプション）

CR2032 は付随していませんが、電源を落としても時間を保持したい場合は、CR2032 を Clock Modules-2 に入れてください。



3.Arduino のファイルを書き込む

3-1.Arduino のファイルを取得する。

<https://github.com/CSDCOJP/ClockShiled> から

ArduinoClock.ino を取得します。

3-2.使用ライブラリ

1.Rtc By Makuna <https://github.com/Makuna/Rtc>

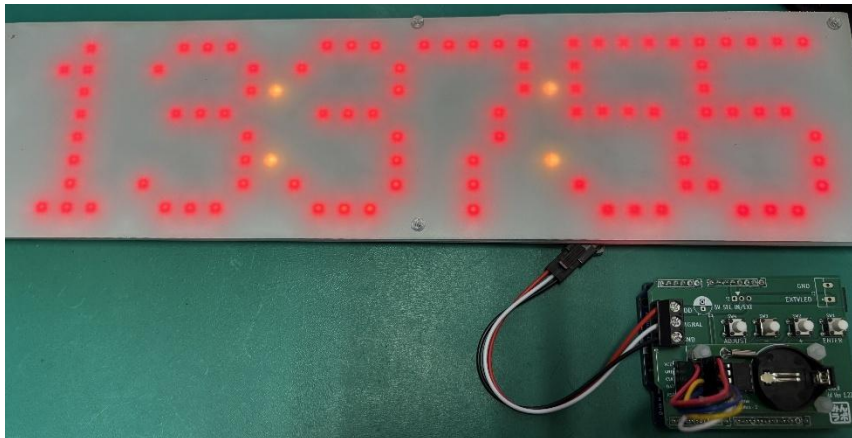
2.FastLed <https://github.com/FastLED/FastLED>

各ライブラリの使用許諾はご確認ください。

3-3.コンパイルして転送します。

以下の様に動作すると思います。

また、Arduino が動作していれば、Arduino の led が 100ms 毎に点滅します。



3-4.キー動作

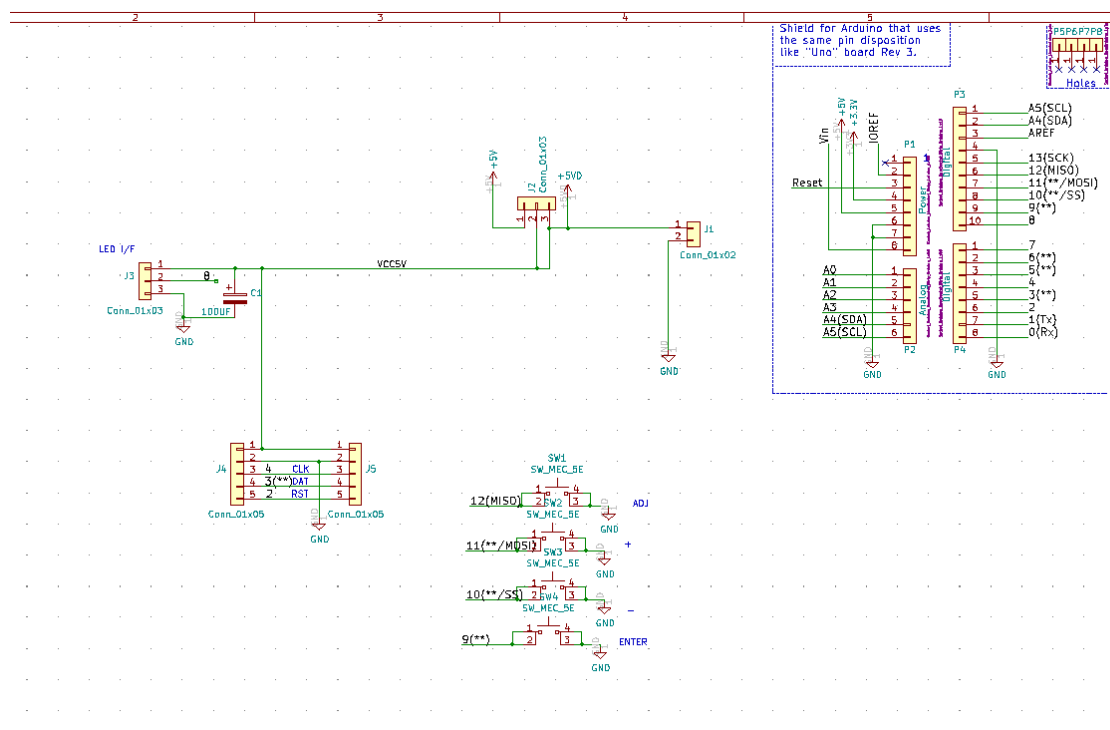
1.Adjust 時計調整状態と通常状態の切り替えボタンです。

2.- 照度のマイナスもしくは調整時は時分秒の-ボタンとして動作します。

3.+照度のプラスもしくは調整時は時分秒の+ボタンとして動作します。

4.Enter 調整時に時=>分=>秒=>設定として動作します。

4.回路図



注意 J2 は基板上で 5V と VCC5V はショートしています。

5.問い合わせ先

Info2 あっと csd.co.jp にメールで問い合わせください。

(あっとは@に変更してください。)

キット作成・設計：
有限会社 シー・エス・ディー
群馬県太田市龍舞町 5161-2